

## 学校だより（別号） 「平成29年度 全国学力・学習状況調査のお知らせ」

平成29年度全国学力・学習状況調査を4月18日（火）に3年生を対象として実施しました。結果や成果・課題等については下記のとおりですのでお知らせ致します。

### 1. 本年度の学力・学習状況調査の正答率の比較

こちらの表は、「平成29年度全国学力・学習状況調査」で実施された国語科 A・B および数学科 A・B それぞれの平均正答率です。全国、全道、本校の平均値と、全国、全道それぞれの平均値と本校の平均値との比較も示しています。

		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
平成 29 年度	全国	77.4	72.2	64.6	48.1
	全道	77.0	72.0	64.0	47.0
	本校	76.0	77.0	71.0	55.0
H29 全国との比較		<b>-1.4</b>	<b>+4.8</b>	<b>+6.4</b>	<b>+6.9</b>
H29 全道との比較		<b>-1.0</b>	<b>+5.0</b>	<b>+7.0</b>	<b>+8.0</b>

\* 全体的に全道・全国よりも高い状況となっています。

### 2. 結果の分析より

#### ■【国語A】主として「知識」に関する問題

《成 果》

- 相手に分かりやすいように語句を選択して話す。（話す）
- 話すための材料を人との交流を通して集める。（話す・聞く）
- 文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広げる。（読む）

《課 題》

- ▲語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。（伝統的な言語文化と国語の特質）
- ▲文脈に即して漢字を正しく書く（書くこと）
- ▲事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す（話す）

#### ■【国語B】主として「活用」に関する問題

《成 果》

- 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。（書く）
- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞く。（聞く）
- 集めた材料を整理して文章を構成する。（書く）

《課 題》

- ▲場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する。（読むこと）
- ▲目的に応じて資料を効果的に活用して話す。（話す）
- ▲相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す。（話す）

#### ■【数学A】主として「知識」に関する問題

《成 果》

- 2つの負の数の和は負の数になることを理解している。（数と式）
- 与えられた比例の式について、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる（関数）
- 与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解している（関数）

《課 題》

- ▲角の二等分線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している。（図形）
- ▲空間における直線と平面の平行について理解している。（図形）
- ▲錯角の意味を理解している。（図形）

## ■【数学B】主として「活用」に関する問題

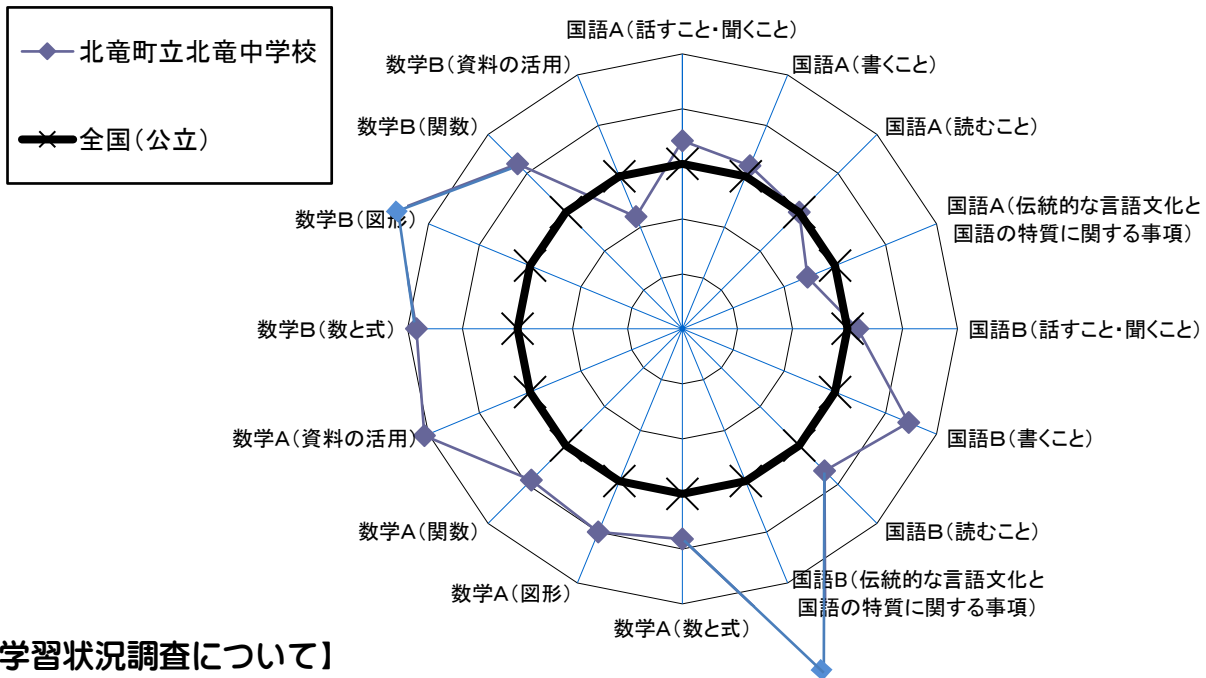
《成 果》

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。(数と式)
- 筋道を立てて考え、証明することができる。(図形)
- 付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる。(図形)

《課 題》

- ▲資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。(資料の活用)
- ▲資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(資料の活用)
- ▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(関数)

## ■全国と北竜中学校の平均正答率を比較した図



## 【学習状況調査について】

《成 果》 下記のような思いや考え方、生活習慣が成長しています。

- 毎日朝食を食べ、同じくらいの時間に起床している。
- 物事に挑戦する態度がある。
- 友だちの話や意見を最後まで聞き、考えや意見を発表できる。
- いじめは、どんな理由があってもいけないと思っている。
- 「総合的な学習の時間」の授業で学習したこと（ひまわり栽培・職場体験）は、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思っている。

《課 題》 今後下記のような生活習慣や思いが改善することを期待しています。

- 就寝する時間が不規則である。
- 平日（月～金）のテレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなど）の利用時間が長い。（2時間以上が5割）
- 毎日（月～日）の家庭学習に取り組む時間が全国・全道平均よりかなり短い。（1時間以下が8割弱）

## 【全体を通して】

確かな学力の向上について、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜く実践的な力を身に付けるためには、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それらを活用して、課題等を見つけ、解決していく力を育成・向上させていくことが重要です。そのため、全国学力・学習状況調査の結果を基に、「基礎学力向上プラン」の見直しにより、学習指導の改善・充実に取り組み、「学ぶ楽しさと、わかる喜び」を実感できる授業を推進します。ご家庭におかれましても、規則正しい生活リズムの中から学習時間を確保していただき、お子さまにとって充実した学習環境の整備をお願い致します。

